

わんぱま

学校だより
第178号
令和3年2月



京丹波町立
和知中学校

学校の玄関前の枝垂れ梅が小さな花を咲かせ始めました。寒さの中にも春を感じることができるとの頃です。

さて3学期が始まり、早くも半ばにさしかかろうとしています。現在も緊急事態宣言下ですが、感染症対策に継続して取り組み、学校生活においては一年間のまとめの時期を迎えようとしています。生徒会では生徒総会を開催して各学級や委員会の活動を振り返り、本部役員も3年生から2年生へとバトンが渡されました。また3年生は私立高校入試、公立高校前期選抜入試、中期選抜入試を経て、進路実現をすべく、皆で精一杯立ち向かっているところです。生徒にとって大切な学校生活を無事に継続するために、各ご家庭におかれまして様々な面でお支えいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

そして和知中学校の本年度の教育活動につきまして地域や保護者の皆様にもご意見をいただき、まとめをさせていただいております。お忙し中、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。裏面に結果を示しています。全体的な傾向として「わかenらない」というご回答も多く、学校の様子をもっとお知らせしていく必要があると感じています。結果をしっかりと受け止め、今後の改善につなげていきたいと考えています。

校長 谷口 恭子

学校評価アンケートについて

本年度の学校生活は臨時休校後、約2ヶ月遅れのスタートとなりました。様々な教育活動について例年通りに実施できないことが多く、生徒や保護者の皆様の不安感が大きかったことがうかがえます。それでも工夫して充実した学校生活を作り出そうと、教職員・生徒・PTAの皆様で取り組むことができた1年であったことがわかります。おもに特徴的であった項目は次のとおりです。(％は肯定的回答＝「強く思う＋そう思う」○昨年より↑：■昨年より↓)

○学校は行事や部活動に力を入れ、子ども達は充実した学校生活を送っている。(90%)

○教職員は気持ちの良い対応をし、力を合わせて教育活動に励んでいる。(84%)

○先生は子どもの能力や努力を適切に評価している。(82%)

■学校・学級だよりやホームページ・学校行事・PTA活動等で学校の様子がよくわかる。(87%)

■学校は授業規律を確立し、基礎的学力をつけるため、授業を工夫している。(69%)

■子ども達は学校へ行くのを楽しみにしている。(79%)

「わからない」という回答が昨年より多かった項目は11項目でした。15番・18番は本年度実施できなかった項目です。アンケート項目や実施方法についても、いただいたご意見をもとに今後検討します。

「北方領土と私たち」作文コンクール

【佳作】2年 野間妃菜子

全日本年賀状大賞コンクール

【入選】3年 谷口 沙弥 津田 怜衣



おめでとう

第14回京都丹波美術工芸教育展 出品者

平面作品	1年	木下 晃希		
	2年	梅原和寿彦	片山 涼	
	3年	片山 來葉		
立体作品	1年	井上 凌弥		
	2年	坂本 佳恋	瀬野はるか	
	3年	谷口 沙弥	山内 幸宗	

現在WEB公開中

学校評価アンケート(保護者)

□強く思う □そう思う □思わない □わからない

